

## ⑦ホウレンソウを育てよう

# 用土 pH 6.5 ~ 7 に

朝夕がだいぶ涼しくなってきました。ホウレンソウは冬野菜の定番で栄養価も高く、家庭菜園でも、人気の野菜のひとつです。これからの時期、プランターでも手軽に育てられます。

### ①プランター

一般的なプランターで大丈夫です。

### ②培養土

一般の野菜と同様に排水が良く、有機物を多く含む土が良く、市販の野菜用培養土や、赤玉土7割、腐葉土2割、パーミキュライト1割を混合して使います。

### ③肥料

培養土10ℓに対し、堆肥200g、化成肥料10g、苦土石灰10gと土とよく混合して使います。ホウレンソウは酸性土壌を嫌うので、石灰等で用土のpHを6.5~7に調整しましょう。

### ④種の準備

ホウレンソウは、春まき用と秋まき用の品種があり、これからの時期は秋まき用の品種を選びましょう。また、葉柄・葉脈が鮮紅色で、12~15cmのベビーリーフとして収穫し、サラダでも楽しめる品種もあります。

### ⑤種まき

培養土の表面を平らにならし、種子のまき溝を、板切れなどで、1cm程度の深さで作ります。一般的なプランターでは、条間を10~12cm程度空け、植え溝を2列作れます。まき溝に1cm間隔でまき、覆土をして、たっぷりと水をかけます。播種するときは、厚まきすると苗が込み合っ

### ⑥間引き

発芽がそろって、本葉1~2枚の時、3~4枚の時、5~6枚の時に間引きをします。間引くのは、葉の形の悪いものを葉が互いにふれあう程度の間隔にします。

### ⑦追肥

本葉がでてきたら、薄めの液肥で追肥をしましょう。

### ⑧管理

マメハモグリハエ、アブラムシ、ヨトウムシが発生することがありますので、プランターにトンネル支柱を立て、防虫ネットで覆いましょう。防虫ネットは、プランターのすそにすき間ができないようにひも等で縛って止めてください。

### ⑨収穫

大きくなったものから順次、間引きながら収穫します。



(鹿児島市都市農業センター)

平成29年10月12日(木) / 南日本新聞